
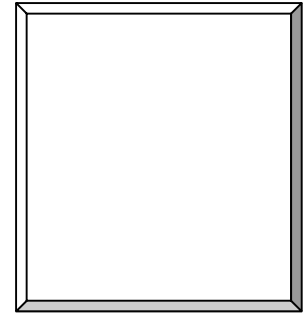


プロフィール



わ た し
私
wa ta shi



なまえ
名前
namae



くに
国
kuni



ことば
言葉
kotoba

ご
語
go



うち
u chi

じゅうしょ
住所
juusho

〒 _____

TEL _____



@ _____



しごと
仕事
shigoto

□



がっこう
学校
gakkoo

□



うち
uchi

□



かぞく
家族
kazoku

(

)にん
人
nin



0~2歳
sai

□



3~5歳
sai

□



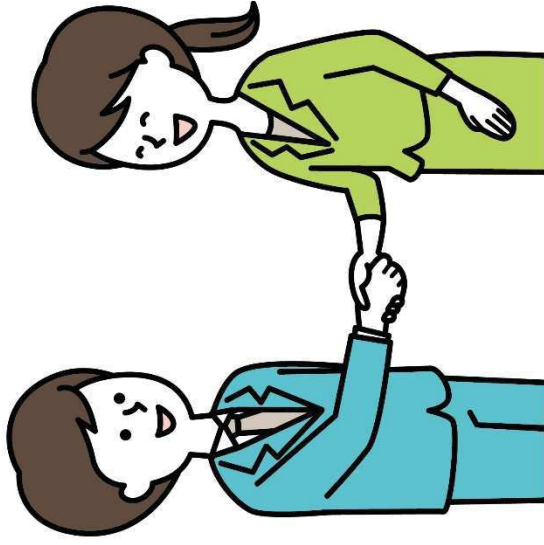
6歳~
sai

□



おじいさん・おばあさん
ojiisan obaasan

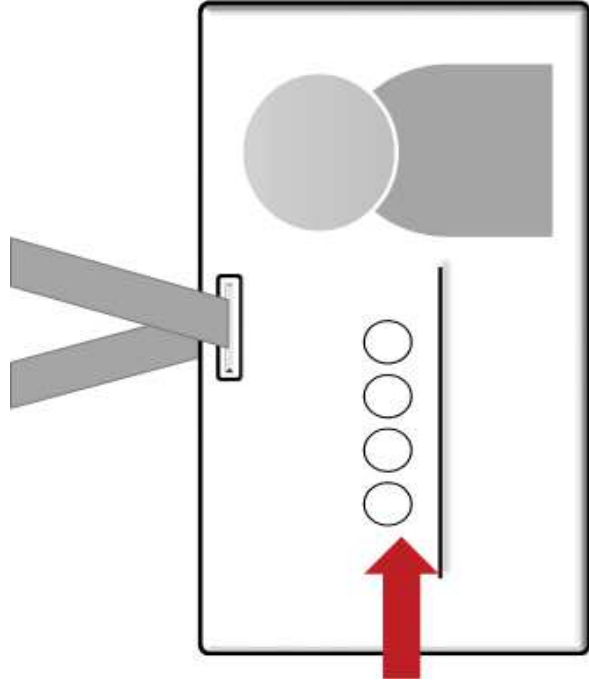
□



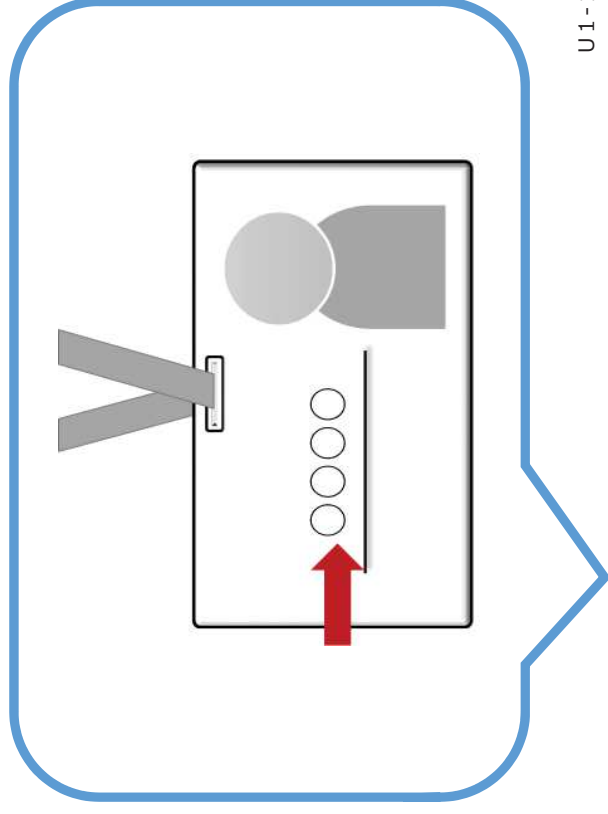
U1-1-1



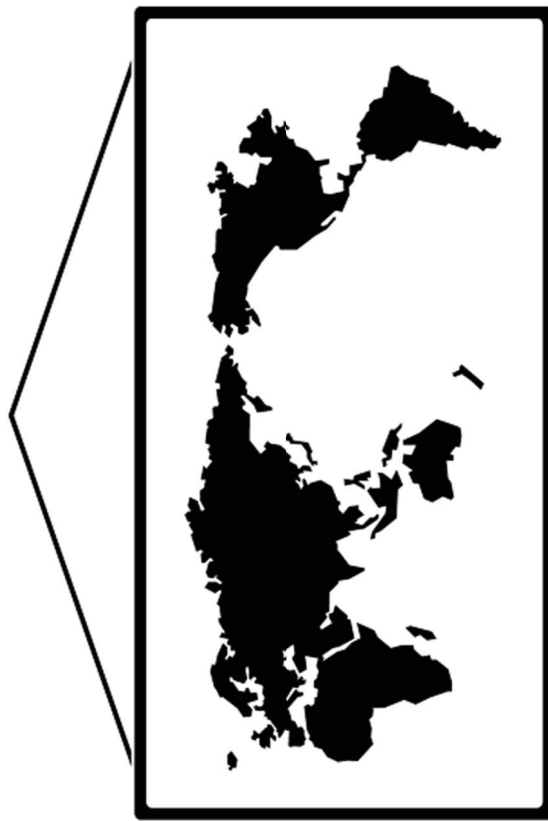
U1-1-2



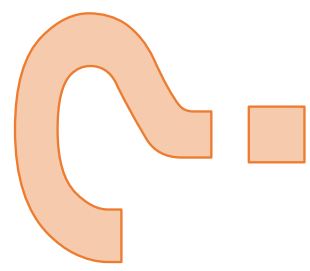
U1-1-3



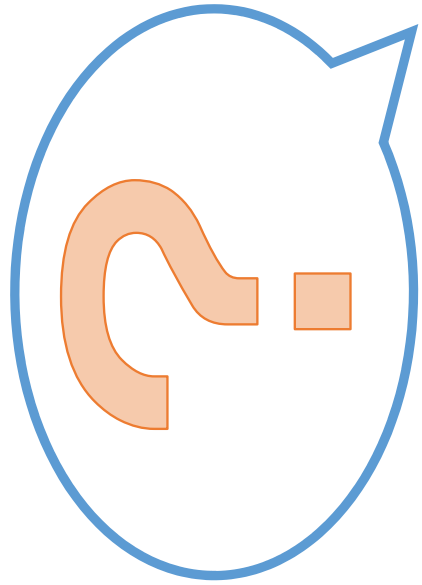
U1-1-4



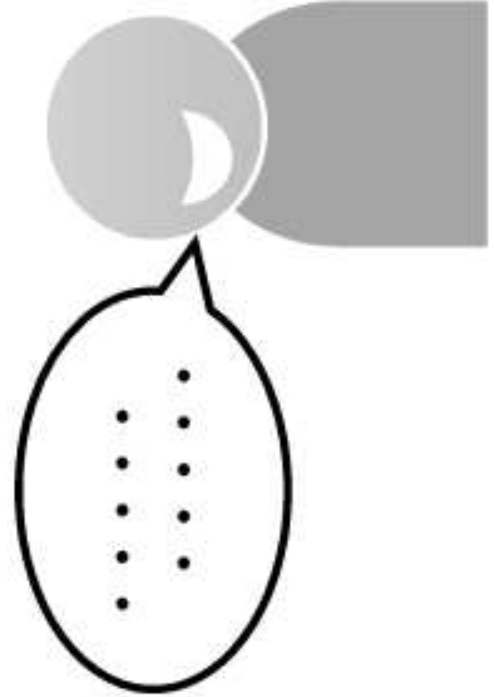
U1-1-5



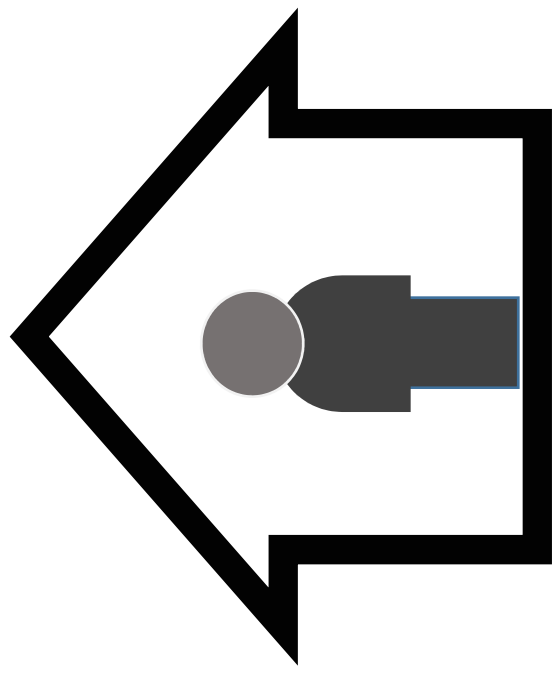
U1-1-6



U1-1-7



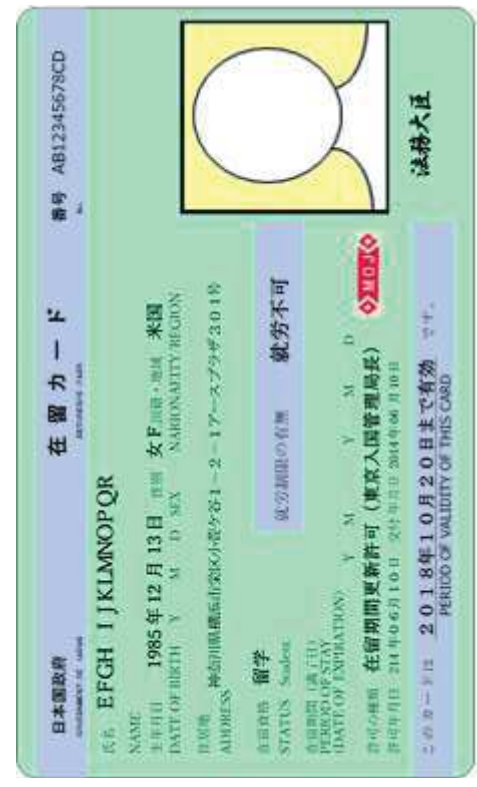
U1-1-8



U1-1-9



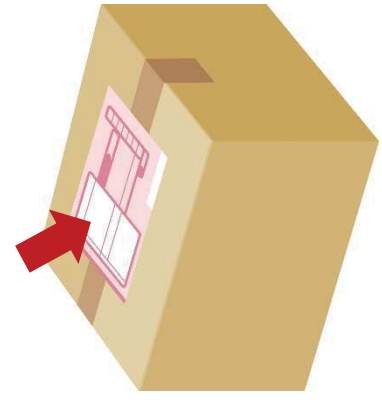
U1-1-10



U1-1-11

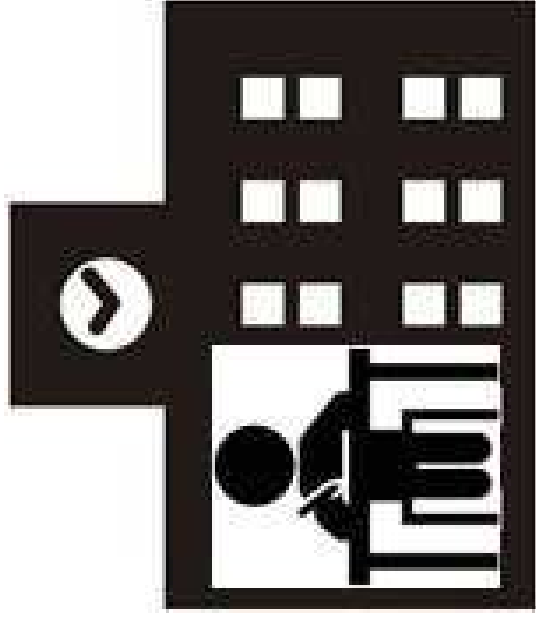


U1-1-12





U1-1-13

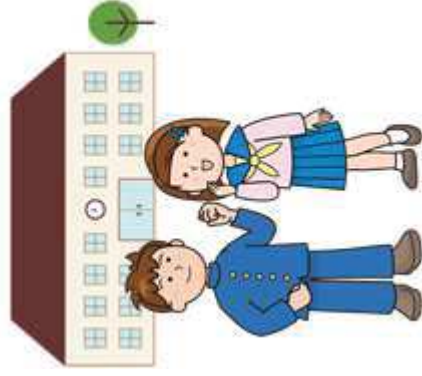


U1-1-14



6 ~ 12 さい

U1-1-15



12 ~ 15 さい



15 ~ 18 さい

U1-1-16



U1-1-17



U1-1-18



U1-1-19

U1-1 自己紹介

目的	日本語教室での楽しい活動の第一歩を踏み出すための自己紹介を通して話を広げ、学習者とボランティアがお互いに知り合う。
イラストについて	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介をしてもらいながら話すための記入式シート。絵文字は、プロフィールについての質問を示している。 質問項目（上から順に） 名前→出身・使用言語→住所・連絡先→生活スタイル（就学、就労など）→家族構成。 右上の四角の欄は、似顔絵を描くなど自由に活用する。
使い方	<p>初対面での自由会話に使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアと学習者がシートを囲んで話しながら分かったことを記入していく。会話を始める前に、学習者自身に書けるところまで記入してもらってもよい。 学習者が書く場合は、自由に書きたいように書いてもらい、やりとりをしながら確認できた内容をボランティアが必要に応じて書き足す。 U1-1-1の補助カードのほか、U1-4「国旗など」、U4-1「朝昼夜」、U4-3「仕事」、U5-1「趣味」のイラストシートを印刷しておく、話題が広がったとき、ことばを補うのに便利。また、世界地図や地域の地図なども準備しておく。
備考	<ul style="list-style-type: none"> 記入してシートを完成させることが目的のシートではない。会話を続けたり楽しんだりしながら、初対面での人間関係づくりを優先する。 質問内容はプライバシーに関わるため、人によっては答えにくい、あるいは答えたくないと感じる場合がある。不快感を与えないやりとりを心がけ、話したくないことは話題を変えるなどする。 入会手続きと重複する内容は、何度も聞かれることで違和感を生むことがあるので、簡単な確認程度に止めたり、省いたりして調整をする。 シートの内容にこだわらず自由に会話を広げる。

○補助カード

学習者とコミュニケーションをするときに、伝えたい状況やことばを日本語だけで伝えるのが難しい場合のコミュニケーション支援ツール（目で見ることば）として活用してください。

（印刷して切り離し、カード型にして使用）

カードNo	タイトル	備考
U1-1-1	はじめまして（2人）	自己紹介場面（1対1活動向き）

U1-1-2	はじめまして (3人)	自己紹介場面 (グループ活動向き)
U1-1-3	名前①	名札に書いてある名前
U1-1-4	名前② (会話)	名前を言います・名前を言ってください
U1-1-5	国 (世界地図)	国・どこ
U1-1-6	はてな (問い) ①	質問場面
U1-1-7	はてな (問い) ②	どこ (ですか) ? (No.1-4-1「世界地図」と組み合わせて、出身地域を質問)
U1-1-8	ことば・言語	(〇〇語を) 話します
U1-1-9	うち (自宅・住所など)	うち (わたしの～、〇〇さんの～)・うちにいます
U1-1-10	うち(町)	町 (わたしの～、〇〇さんの～)
U1-1-11	住所 (在留カード)	住所 (わたしの～、〇〇さんの～)
U1-1-12	住所 (封筒の宛名・荷物の送り状)	住所 (わたしの～、〇〇さんの～)
U1-1-13	出勤・就労 (出勤・タイムカードと職場)	仕事をします (しません)・会社へ行きます (いきません)
U1-1-14	学校	校舎と学生
U1-1-15	小学校	小学生の女兒と男児と学齡期(文字)
U1-1-16	中学校～高校	左図: 男子中学生と女子中学生、右図: 男子高校生と女子高校生と学齡期
U1-1-17	大学	各国から集まる大学生、18歳以上
U1-1-18	保育園・幼稚園	園児と園での様子
U1-1-19	家族とペット	家族は7人です・家族は何人ですか

記入例 : (必要な項目だけ扱い、会話を楽しむ自己紹介)

初対面の会話の入り口とすることを目的に使うシート。

「自己紹介」で会話を楽しみながら、聞いてわかったことをメモしたりしながら、項目にとらわれずに、会話を広げてください。

自画像や似顔絵、また写真シールなどでも。

プロフィール

わたし
私
wa ta shi

なまえ
名前
namae

くに
国
kuni

じゅうしょ
住所
juusho

うち
家
uchi

TEL

がっこう
学校
gakkoo

うち
家
uchi

かぞく
家族
kazoku (3) にん
人
nin

0~2歳
0~2さい

3~5歳
3~5さい

6歳~
6さい~

おじいさん・おばあさん
おじいさん・おばあさん

読み方と呼び方をカタカナでメモするとよい。

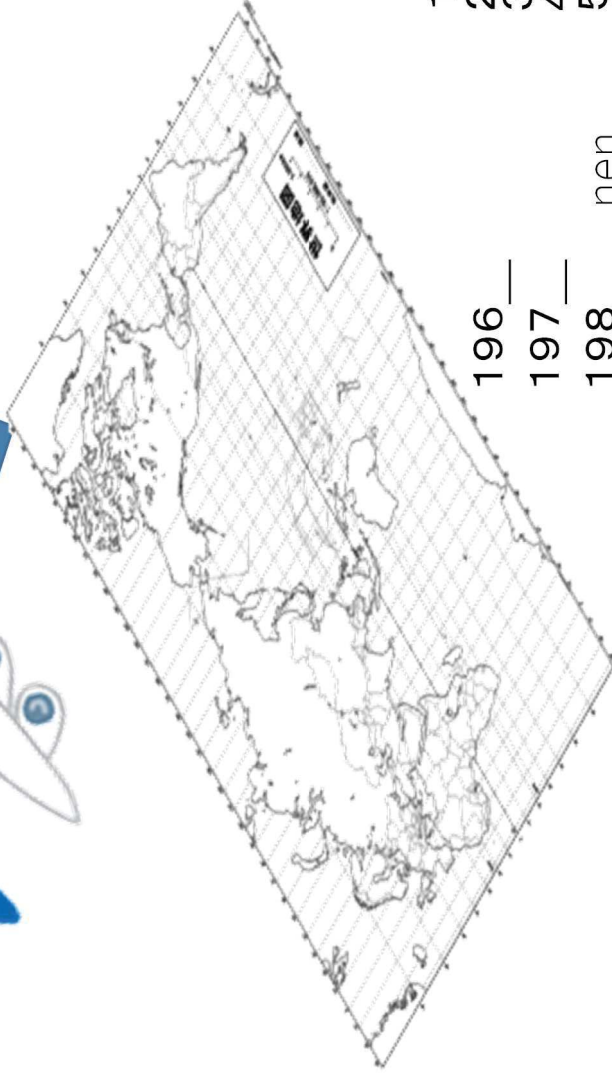
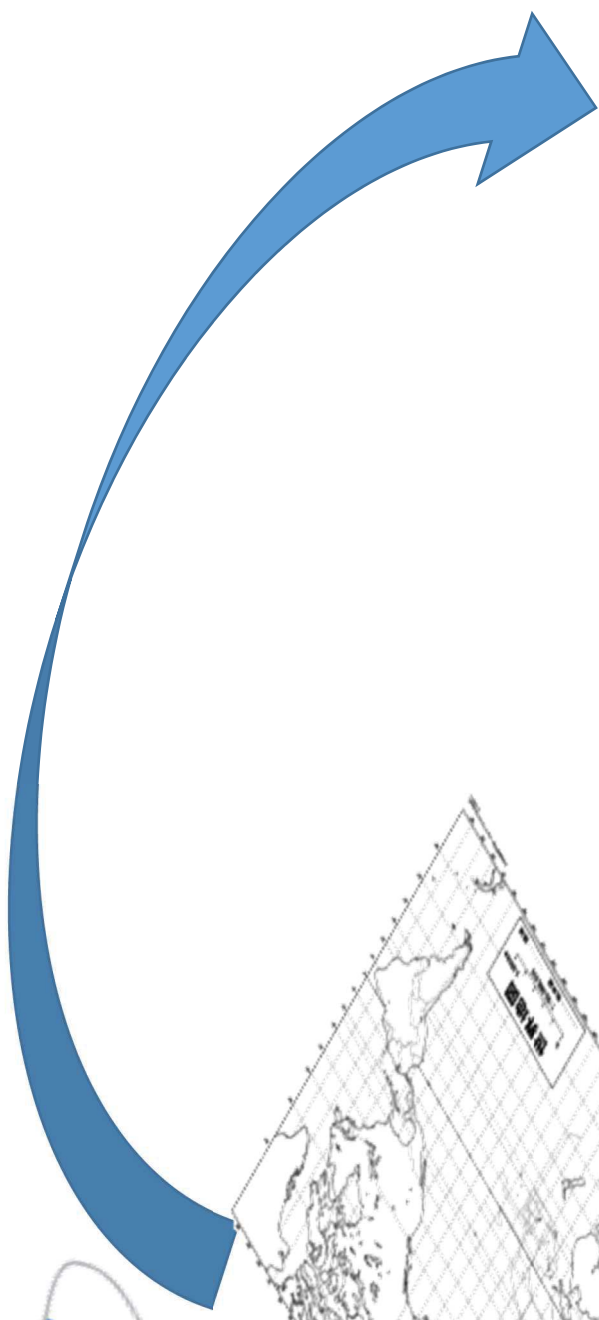
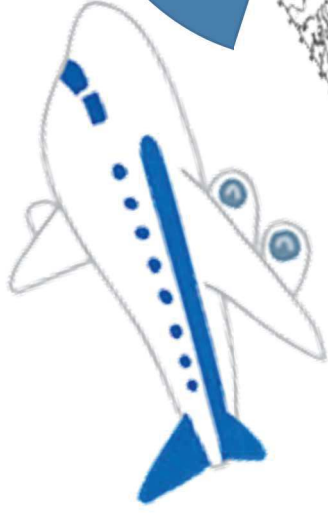
たくさん話せる言葉がある人も！

連絡先情報は、必要に応じて記入

初対面で聞きにくい場合は、飛ばしてください。

ご本人+ご家族の人数を○で囲むと数を目で見て確認できます。

子育てや介護についての情報が欲しい学習者かどうか分かります。初日に確認しなくても、ゆくゆく、様子が分かるといいですね。

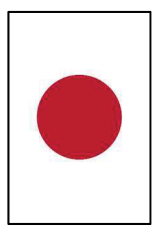


196 _
 197 _
 198 _
 199 _
 200 _
 201 _

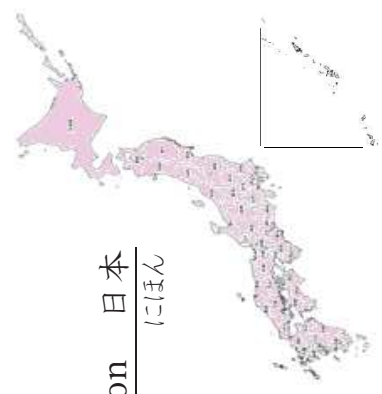
nen
 年 ねん

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

gatsu
 月 がつ

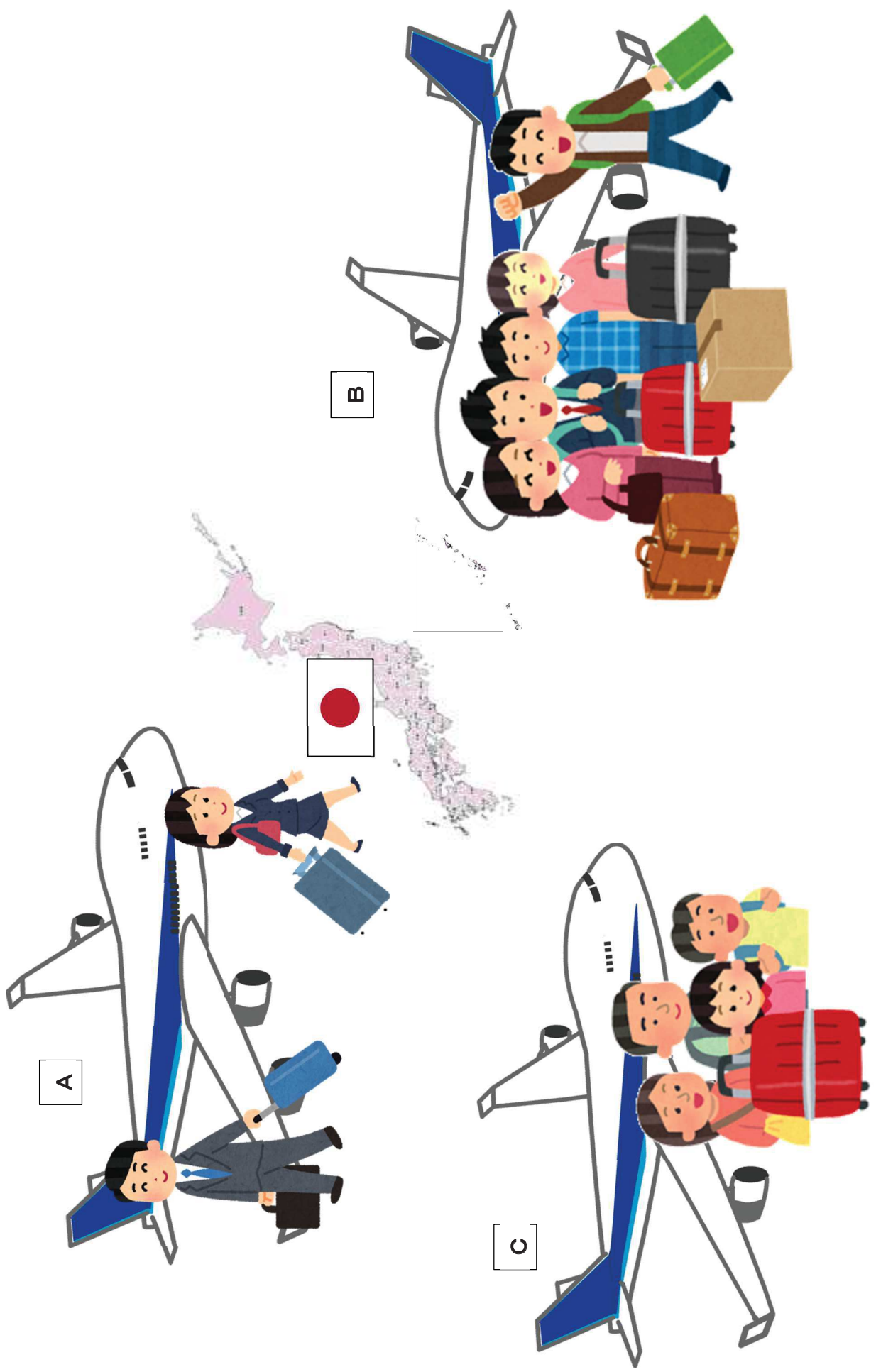


Nihon 日本
 にほん



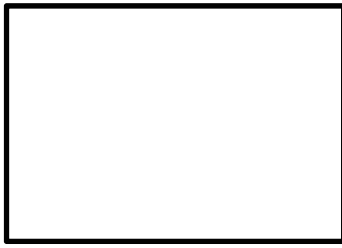
U1-2 いつ日本に来ましたか

目的	学習者の来日年を知る（日本での生活歴につながる）。
イラストについて	<ul style="list-style-type: none">・海外から日本に飛ぶ飛行機で来日を示す。・来日の年は1960年代から2010年代までの間で下1けたを記入し、来日の月は選択する。
使い方	いつ来日したかを尋ね、可能なら来日年月を書いてもらう。何度も往来している人もいるので、来日時が複数回になることもある。そのことは学習者からの言及がなければ、特に確認する必要はない。
備考	<ul style="list-style-type: none">・生活歴は単に日本語だけでなく、生活経験の目安。・U1-3「だれと来ましたか」とあわせて使うと来日時の状況がわかりやすい。



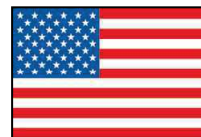
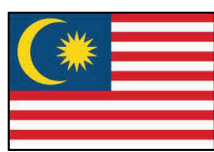
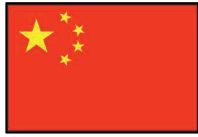
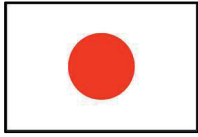
U1-3 だれと来ましたか

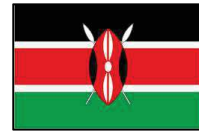
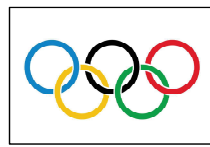
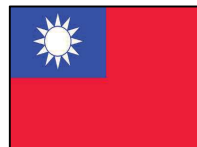
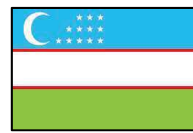
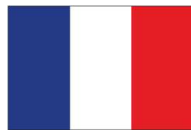
目的	来日時の同行者を話題に話す。
イラストについて	<input type="checkbox"/> A 単身での来日 <input type="checkbox"/> B 友人等と団体での来日 <input type="checkbox"/> C 家族での来日
使い方	<ul style="list-style-type: none">・「だれと来ましたか？」と尋ねながら、「ひとりで？友だち？かぞく（だんなさん／おくさん）？」と指さして、学習者に該当するものを選んでもらう。・イラストは子どものいる家族だが、もっと大きな家族での来日、たとえば成人の兄弟や従姉妹などと連れ立っての来日などもありうる。
備考	U1-2「いつ日本に来ましたか」とあわせて使うと、来日時の状況がわかりやすい。



くに Kuni 国

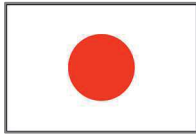
Watashi no Kuni
← わたし の くに





くに Kuni 国

Watashi no Kuni
←わたしのくに



にほん



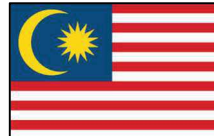
ちゅうごく



かんこく



インドネシア



マレーシア



フィリピン



シンガポール



モンゴル



ベトナム



ラオス



カンボジア



ミャンマー



タイ



インド



ネパール



パキスタン



バングラデシュ



スリランカ



イラン



サウジアラビア



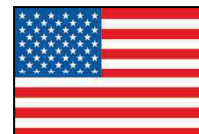
トルコ



オーストラリア



ニュージーランド



アメリカ



カナダ



ブラジル



ペルー



ボリビア



アルゼンチン



ドミニカ共和国



メキシコ



コロンビア



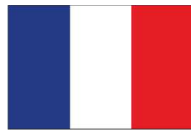
パラグアイ



ジャマイカ



イギリス



フランス



ドイツ



イタリア



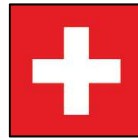
スペイン



オランダ



スウェーデン



スイス



ポーランド



ルーマニア



ロシア



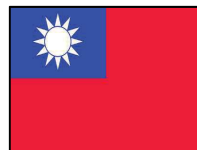
ウクライナ



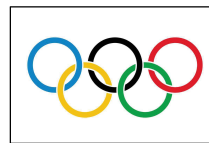
ウズベキスタン



EU



たいわん



オリンピック旗



タンザニア



みなみアフリカ



ガーナ



セネガル



ケニア



ナイジェリア



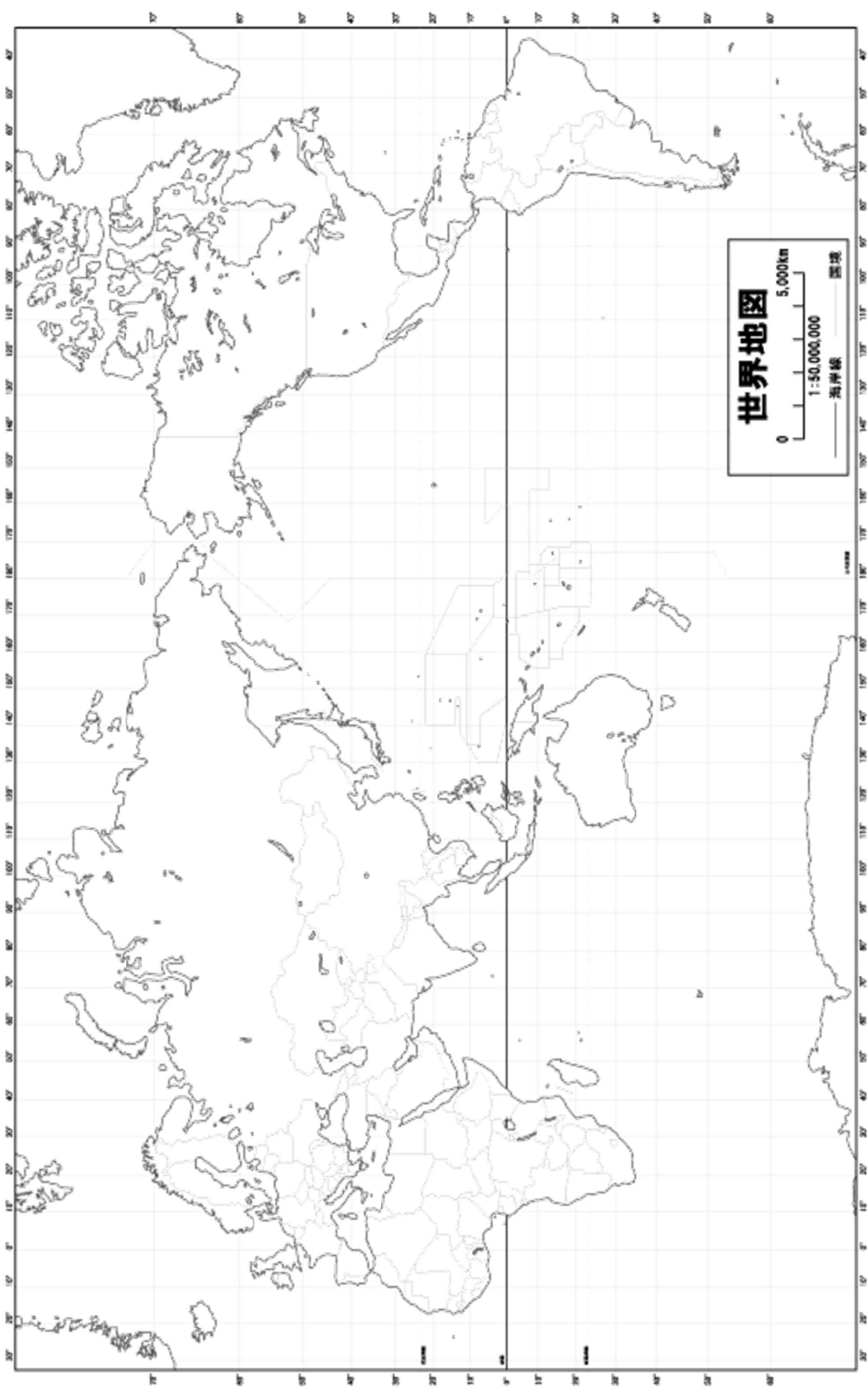
モロッコ



エジプト



シリア



U1-4 国旗など

目的	学習者と、出身国・地域やそれに関連した話をする時に使う。
イラストについて	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県内在住者数の多い国・地域を優先的に選び、アジア、南米、ヨーロッパなど地域別に並べてある（H30 県国際課調べによる）。このシートにない国・地域については、コミュニケーションのチャンスと考え、学習者に旗を描いてもらったり調べたりするといい。 ・U1-4A 文字なし、U1-4B 文字ありの2種類ある。U1-4B 文字ありはボランティア用。
使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・このシート単独でも使えるし、U1-4-1「世界地図」と一緒に使うと場所も確認できる。 ・U1-1「自己紹介」、U1-2「いつ日本に来ましたか」等、国や地域に話題が及ぶ時にいっしょに使うこともできる。 ・国旗のデザインや色の由来などについて聞いてみるもいい。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者や話題に関わる国・地域の旗を使う。 ・学習者の中には政治的な理由等から、国名や国旗を話題にすることに抵抗を感じる人がいるかもしれない。また、「国旗」とは言っても一つの国に何種類かある場合もある。 ・学習者の様子を見て配慮し、無理をしない。 ・「神奈川県内国・地域別外国人数」2018年（平成30年）1月1日現在 http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/917117.pdf

○補助カード

学習者とコミュニケーションをするときに、伝えたい状況やことばを日本語だけで伝えるのが難しい場合のコミュニケーション支援ツール（目で見ることば）として活用してください。

カードNo	タイトル	備考
U1-4-1	世界地図	